

## 大内兵衛博士の略歴

明治21(1888)年 8月29日	兵庫県(淡路島)生まれ
明治42(1909)年 7月	第五高等学校卒業
大正 2(1913)年 7月	東京帝国大学法科大学経済学科卒業
同月	大蔵省入省
大正 4(1915)年 2月	竹田貞松長女笹代と結婚
大正 7(1918)年 6月	二男力(つとむ) 誕生
8月	東京帝国大学農科大学講師(嘱託)
大正 8(1919)年 5月	東京帝国大学経済学部(新設)助教授。政学講座担当
大正 9(1920)年 1月	森戸助教授筆禍事件に連座、休職を命ぜられる
10月	森戸事件の刑確定、失官退職。大原社会問題研究所嘱託に就任
大正10(1921)年 2月	ヨーロッパ留学
10月	特赦
大正11(1922)年 2月	東京帝国大学助教授に復職
大正12(1923)年 10月	帰国
11月	東京帝国大学教授に就任。財政学第二講座を担当
昭和13(1938)年 12月	治安維持法違反容疑で起訴、大学を休職
昭和19(1944)年 9月	治安維持法違反容疑につき、無罪判決
10月	東京帝国大学総長より辞職勧告を受けるも、拒否。休職を命ぜられる
昭和20(1945)年 12月	東京帝国大学教授に復職、財政学第一講座を担当
昭和21(1946)年 12月	統計委員会委員長となる
昭和22(1947)年 12月	東京大学から経済学博士の学位を受ける
昭和23(1948)年 3月	日本学士院会員となる
昭和24(1949)年 3月	停年にて東京大学退官
昭和25(1950)年 2月	財団法人全国統計協会連合会会長に就任
4月	東京大学名誉教授の称号を受ける
9月	法政大学総長に就任
昭和27(1952)年 8月	統計委員会廃止に伴い、委員長を辞任
9月	統計審議会設置に伴い、会長に就任
昭和28(1953)年 3月	大内賞委員会発足に伴い、委員長に就任
昭和32(1957)年 3月	統計審議会会長を退任。これに伴い大内賞委員会委員長を退任
昭和34(1959)年 4月	法政大学総長を辞任
昭和45(1970)年 2月	財団法人全国統計協会連合会会長を辞任
昭和55(1980)年 5月 1日	享年91歳にて永眠

(財団法人全国統計協会連合会「大内兵衛と日本の統計」より)